

相談室だより (米の山) 2012年10月

担当：米の山病院 MSW 渡辺

10月に入りだんだんと秋を感じる今日このごろ、みなさまいかがお過ごしでしょうか？ 今回の相談室だよりは、上半期の無料低額診療事業件数とその事例について、健康チェック、大牟田市吉野地区包括支援センターの3本立てで書いていきたいと思ひます。しばらくお付き合いのほどよろしくお願ひします。



今年度の無料低額利用者は28名となっています。内訳は以下のとおりです。

無料低額患者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月 (上半期)
申請数	4件	4件	6件	1件	4件	10件
許可数	4件	4件	6件	1件	4件	9件
受診歴なし	1件	1件	1件	0件	0件	0件
保険なし	1件	0件	0件	0件	0件	1件
継続者	1件	2件	5件	0件	3件	6件
外来件数	3件	4件	6件	1件	4件	8件
入院件数	1件	0件	0件	0件	0件	1件
利用年齢	30代	40代	50代	60代	70代	80代
	1名	7名	4名	8名	6名	2名
男女比率	男性 14名 + 女性 14名					計 28名

事例紹介

A氏 60歳 男性

大腸癌で化学療法を行っている患者。支払いが困難との理由で化療を拒否されているとのことで、相談依頼あり。以前は建設業など職を転々とされていたが、6年前に母親の介護を理由に仕事を退職されてからは、仕事に就かれていない。これまでは、貯蓄や保険金などで生活されていた。ご兄弟が遠方におられるが、年金受給者であり援助は難しい。人工肛門で身障4級を所持されている。収入もなく生活困難なため、生保申請を行い、生保になるまでの期間を無料低額診療で治療。



B氏 48歳 女性

薬局より無保険患者対応依頼があり面談。無保険で、自費で精算されていた。本人は仕事をされていたが、その後は退職され無保険のままだった。夫は自営業(農業)で妻の扶養に入っていた。子どもは3人で(今年から就職者した2人と1人は学生)援助できる状況ではない。夫は現在東京に出稼ぎに行かれている。長女への扶養保険加入手続きを行い、無保険状態だったころより遡って保険加入となっている。失業保険の申請を行っているが、まだ支給開始となっていない。無収入だが治療の必要があり無低で対応。



健康チェック実施



ありあけ健康友の会羽山台支部で、10/27(土)にマミーズ羽山台店前で健康チェックを行いました。小雨の降る中、41名が健康チェックに参加されました。身長・体重はもちろん、体脂肪や血圧測定、血管年齢に骨密度測定などを実施しました。私達が準備を始める段階から、すでに待たれている方もあり大変盛況でした。当日は栄養士や薬剤師も参加され、参加者からも矢継ぎ早に質問されていました(^v^)。参加された方はおつかれさまでした。まだ参加されていない方は一度参加してみてもはいかがでしょうか。

大牟田市吉野地区包括支援センター

みなさんをご存知でしょうか？

10月1日より、市の委託を受けて、大牟田市吉野地区地域包括支援センターが実働しています。私達の仲間が頑張っていますので、近くに行かれることがありましたら、是非立ち寄ってみてください。今回は、吉野地区包括支援センターで勤務されている、社会福祉士の緒方さんより貴重なお話を伺いましたので、ご紹介したいと思います。



みなさん、覚えていますかあ～？
ソーシャルワーカー委員会の前委員長
というよりも、みさき病院でソーシャルワーカーをしていた緒方弘征です。
毎日大変ですけど、やりがいのある仕事で頑張っています。
忘れないでねええええ～(笑)

「人と人」

包括支援センターは市民の様々な相談を 365 日 24 時間、ワンストップで対応する役割を持っています。市民のさまざまな相談(介護や病気、経済・家族間のトラブルなど)をワンストップ(どのような相談でも受け付け対応する)とはいっても、センタースタッフはたった 4 人です。4 人で限界はあります。限界を感じると同時に、市民の方々や行政、医療福祉機関などとの結びつきを非常にありがたく思っています。例えば、独居で認知機能の低下した高齢者の発見や見守りは、包括支援センターだけでなく、地域の方も一緒にいただいています。高齢者や子供の集える場所づくりも、地域の方々と一緒にやっています。医療ニーズを抱える方には、医療機関と一緒に対応できています。時には大きな困難を抱えたケースの前に、無力感を感じることもありますが、地域をはじめ、多くの関係機関の方々のおかげで、乗り越えられています。その結びつきに必要なもの、つまるところ“人と人”の重要性をイヤというほど思い知らされています。そこには、あいさつや笑顔といった基本的な所作、一生懸命さなどです。これからも“人と人”の繋がりを大切にして、業務にあたっていきます。みなさんもお気軽によってくださいね。

11月号へ続く